



ほっかいどういぶりとうぶじしん じれい かんが
北海道胆振東部地震の事例から考える

都市部での 災害時外国人支援

大規模停電

情報遮断

交通障害

2019年
2月23日(土)
10:00-12:30
仙台国際センター1階
交流コーナー研修室

(札幌市中央区すすきの 写真提供：札幌市)

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震では、住民とともに多くの外国人旅行者が被災しました。大規模な停電、交通障害、情報からも遮断される中、札幌市は災害多言語支援センターを立ち上げ、観光客のための避難所を開設しました。今回の研修会では、札幌市災害多言語支援センターの運営スタッフと、北海道を旅行中に被災した外国出身者から、当時の状況について報告を聞き、災害時の外国人支援について考えます。

講師	<p>(公財) 札幌国際プラザ 企画事業部 おたか つむぎ 大高 紡希 氏</p> <p>2014年から現職、災害対策・防災啓発事業を担当。その他、日本語教育、コミュニティ通訳なども担当した。多文化共生マネージャー認定。</p> <p>2010年から4年間チュニジアに在住、同国の革命を発端とした「アラブの春」を体験し、外国人の危機管理に興味を持つ。</p> <p>北海道胆振東部地震では、災害多言語支援センターでコーディネーター業務を行った。</p>	<p>大阪大学 大学院工学研究科 特任研究員 かん じよんみん 姜 正敏 氏</p> <p>韓国出身。東北大学大学院理学研究科で博士号取得。2017年から現職。</p> <p>2011年の東日本大震災では、仙台市災害時言語ボランティアとして通訳・翻訳活動を行った。昨年9月、学会出席のため函館滞在中に北海道胆振東部地震が発生。大阪への帰宅困難を経験。</p>
対象	災害時の外国人支援に関心をお持ちの方 どなたでも (定員40名)	
申込 問合せ	<p>①氏名、②連絡先(電話番号またはメールアドレス)、③講師への質問を記入のうえ、下記まで申し込んでください。</p> <p>(公財) 仙台観光国際協会 国際化推進課 担当：堀野・須藤 メール：kokusaika@sentia-sendai.jp FAX：022-268-6252 TEL：022-268-6260</p>	